

ここには いつもの風景 いつもの音

そしていつもの顔がある

郷土をもっと
好きになろう



目を閉じると浮かぶ景色がある。——日本のどこへ行っても、世界のどこへ行ったとしても、そこはあなたが戻るところ。あなたのふるさとなのだ。

地域にかかわる学習など学校で学んだことや日々の生活から、自分が暮らす地域を見直してみよう。

ここが

私のふるさと



ふるさとを語ろう



ふるさとに 自分ができることはなんだろうか

■ あたりまえのように毎日を暮らしている私の町。ここは、確実にあなたのふるさとなのだ。いま、ちょっと大人になった目で、ふるさとのことを考えてみよう。ふるさとのよさを伸ばしてみたいと思うこと、こうしたらいいと思うこと。課題を自分なりに掘り起こしてみよう。

■ あなたが見つけたふるさとの課題について考えてみよう。自分のふるさとだと胸を張れるようにするために、何かできることはないだろうか。自分自身で、あるいは仲間と力を合わせて、きっと何かできることがある。

「お父さん、お母さん お話してよ」

20年後のあなたへ

20年後のあなたになって想像してみよう。あなたはふるさとを離れ遠い土地で幸せに暮らしている。あなたのかわいい子どもが、お父さんやお母さんになったあなたに、ふるさとでの少年時代や少女時代を聞いてきた。さあ、あなたはどんなお話をしあげるのでろう。

「どんなことして遊んでいたの？」



「どんな人たちがいたの？」



「おうちの近くに何があったの？」



ふるさとについて、あなたが伝えたいこと



年 月 日

ふるさとについて、あなたが伝えたいこと



年 月 日



年 月 日



年 月 日